

□議員名：大井淳一郎

1 5類感染症への引き下げを受けての市の対応について

論点	5類感染症への移行により、これまでと何が変わるのか。
回答	感染者や濃厚接触者の外出自粛要請などの行動制限がなくなる。医療費の自己負担や対応医療機関、ワクチンなどの詳細については、国から具体的な方針が示されてから市民への周知等を行っていく。

論点	学校生活はどのように変わるか。
回答	4月1日以降、学校教育活動の実施に当たってはマスクの着用を求めないことを基本とする方針が示されたが、引き続き、換気、手洗いなどの基本的な予防対策が講じられるよう指示している。また、マスク脱着については偏見やいじめ等が起こらないよう指導する必要があると考えている。

論点	市民病院の対応についてはどうか。
回答	来院する患者についてはマスクを着用してもらうことを考えている。新型コロナウイルスは感染力が強く、感染していることに気付かないうちにうつしてしまうことがあるので、季節性インフルエンザとは対応が少し変わってくると考えている。

2 eスポーツに対する認識と今後の取組について

論点	本市はeスポーツをどのように認識し、今後どのように取り組んでいくのか。
回答	世代間交流等を促進するためのツール、運動機能低下予防のツールとして期待されているものと認識している。費用や継続的な運用方法等の課題はあるが、今後も山口東京理科大学との連携を視野に入れつつ、研究を続けていきたいと思う。

論点	市長は高齢者のeスポーツ体験会に参加されているが、そのときの感想はどうか。今後推進する考えはあるのか。
回答	飛び入り参加という形で貴重な経験をさせていただいた。参加者も

	戸惑いがありながらも楽しく過ごされていたという感想があった。 今後は山口東京理科大学などの知見を頂きながら、市として取り組むべき姿を模索したいと考えている。
--	---

### 3 1人1台端末の保守管理について

論点	保守管理の現状についてはどうか。
回答	各学校で管理台帳を作成し管理している。端末の不具合や故障対応等については、市教育委員会担当者と各学校を訪問するICT支援員が中心となって対応している。

論点	故障・破損の台数と主な理由は何か。
回答	令和3年度の故障・破損台数は61台、令和4年度は80台となっている。故障・破損の主な理由は、自然故障、落下による液晶画面の破損、キーボードの破損、液体侵入が挙げられる。

論点	自然故障などで使用できなくなった場合の対応はどうか。
回答	市教育委員会が回収し、各教室に配備している予備機で対応している。原則として市教育委員会の負担だが、ふざけて落とすとか、端末の入ったかばんを投げるなど使用する者に故意重過失があると認められる破損は、保護者の負担をお願いする場合がある。

論点	タブレットが壊れた場合の保険対応についてはどうか。
回答	当初、保険に入ることも検討したが、費用対効果の面から断念した。タブレットが壊れた場合は予備機と交換することで対応しているのが現状。